

佳作

自分たちでできること

六本木中学校 金子 和幸

「ミン、ミンミン、ミー」これを聞くと夏が来たと感じる。僕が七歳の時の夏、自分の家の庭に、蝶の幼虫がいた。アゲハ蝶やモンシロ蝶の幼虫が十匹ずつぐらい。だから、毎朝幼虫を見に行き、観察をした。日に日に幼虫から蛹へ、蛹から成虫へ成長していくのがとても面白かった。成虫の蝶がひらひらと飛んでいると、自分の家の庭で育ったのかなと考えたこともあった。

しかし、ここ数年は蝶の幼虫を見なくなった。これは、気のせいかと思い、

「最近、蝶の幼虫見ないよね。」

と家族に聞いてみた。やはり、家族も、

「そういえば、見ないね。」

と口をそろえて言った。これは偶然なのか。それとも、何か理由があるのか。僕は、何か理由があると思う。僕は地球温暖化が関係していると思う。僕が蝶の幼虫を見なくなったのは二年前からだ。地球温暖化も二年くらいから、深刻化している。こうなると、地球温暖化を疑うべきだ。こんなことを考えていると、トンボもそうだ。トンボも、僕が小さい時はたくさんいて、虫かごと虫網を持って、近

所の公園に行ったのを鮮明に覚えている。最近、トンボを全然見ない。これも地球温暖化が関係しているのではないか。

今年の夏は異常な暑さだ。夏休みが終わっても、とても暑い。これも地球温暖化の影響だ。ここ数年も地球温暖化という言葉をよく聞いていたが、暑くなっているという実感は、今年の夏からだと思う。暑さで野菜が育たなく、とても値段が高くなった。このまま地球温暖化が進めば、野菜が育たなくなり、飢えに苦しむことになるかもしれない。と同時に、住めなくなった生き物は絶滅するかもしれない。ますます生き物がいなくなってしまうだろう。また、海面上昇で、島が浸水しているのも、テレビで見たことがある。

深刻化している地球温暖化は、人間のせいで生き物全てに影響をもたらしている。原因は人間だから、食い止めるのも、我々人間にしかできないことだ。地球温暖化を食い止めるには、小さなことから始めるのがいいと言われるが、今からだと遅いと思う。地球全体で地球温暖化問題に取り組まないと、このままズルズルと地球温暖化が進んでしまいうそうだ。このまま進めば、海面が上昇し、島が沈んでしまふ。これを食い止めるには、一人一人の努力も大事だが、大きな努力がないと食い止められない。

しかし、力のない僕らは小さなことをひたすらやるしかない。人のいない部屋では電気を消す。使っていないコンセントを抜く。こんな小さなことでも、やったほうがいい

い。僕の好きな言葉の一つに「ちりも積もれば山となる」がある。今の僕たちは、この言葉を信じて、小さなことをやるしかない。僕はこの言葉を信じ、小さなことをコツコツとやって、少しでも地球温暖化阻止の役に立ちたい。そして、地球環境をよくし、もう一度大都会でトンボや蝶をたくさん見たい。トンボや蝶を見るためにも、環境を守る努力をしていきたい。